



2022～2023年度

第2号  
NO.512

LIONS CLUBS INTERNATIONAL  
DISTRICT 336-B 7R-1Z  
TOTTORI KYUSHO LIONS CLUB

## 地区ガバナー退任のご挨拶



ライオンズクラブ国際協会 336-B地区 ガバナー L 西尾 慎一

地区ガバナー退任にあたり、ひとことご挨拶させていただきます。

私が地区ガバナーに就任して以来、7Rのクラブ会員の皆様には色々ご協力を頂き本当に有難うございました。振り返ってみれば、あっという間に過ぎ去った1年であったと感じています。

本年度は、地区ガバナーとして、ブライアン・シーハン国際会長のメッセージ“Together We Can”のもと、●ライオンズの輪を広げる、●財団の活力を保つ、●奉仕の目標を高く持つ、●地域社会の代弁者になる、以上4つの国際会長優先実施項目の実現に向け、地区アクティビティスローガンを“地域に寄り添い 未来に繋げる 新たな挑戦”として、やがて収まるであろうコロナ感染症の次を見据え、地区の重点取り組み目標を今年度よりスタートしたGMAを成功させ、会員の増強と地区の活性化を図る、●新しい奉仕の発見、拡充によるクラブの活性化を図る、●LCIFの継続的な支援、●楽しいクラブづくりとして活動して参りました。

この中でも本年度、特に力を入れて取り組むべき目標でありました会員増強とLCIFへの支援については、ご存知の通り満足の行く結果とはなりませんでした。

会員増強につきましては、地区の活性化を図り奉仕の輪を広げるためにも、ここ6年間続いておりました年間150名におよぶ会員減少に歯止めをかけ、なんとか30名の会員増強を目指しました。その結果、多くのクラブの皆様にご理解を頂き前向きに取り組んで頂きましたものの、現状の推移を申し上げますと、期首会員数2,461名に対し4月末現在2,460名で差引き1名の減少となっておりますが、例年、期末に向けて退会者が増加する傾向があり今後さらなる努力が必要となります。

もう一つ、LCIFへの献金についてであります。キャンペーン100は昨年終了しましたものの、あらゆる分野で国際規模の支援活動は続いており、私たちが国際協会の

会員である以上、世界にむけて活動しているLCIFへ支援する事は大きな奉仕の一環であると思います。そのような中、今年度は地区全体で20万\$の献金目標に対し大幅に下回りそうな状況で推移しており、達成率は全国35の準地区の中で最下位となっています。LCIFへの献金の重要性が皆様にご理解いただけなかったことに対し、私の努力不足を大いに反省し大変申し訳なく思っております。

さて、本年度は2019年度より蔓延しましたコロナウイルス感染症の第7波そして第8波の影響もあり、昨年、一昨年とまでは行かないまでも私たちの活動に少なからず影響がありました。その様な中、皆様のご協力により、公式訪問や周年事業、そして研修会、各種会議などの計画した事業、そして締めくくりの年次大会も滞りなく実施できたと思います。皆様の献身的なご協力に感謝申し上げたいと思います。

さて、もう一つ、目標に掲げていたのが、“楽しいクラブづくり”であります。それを実践すべく、“調和と融合 明るく 楽しく 元気よく”をガバナーズローガンとして取り組んで参りました。ここ数年来、続いておりました不協和音に終止符を打ち、前に向かった進むこと、それこそが私たちが結束を深め、次の世代に明るく楽しいライオンズを引継ぐためには重要であるとの思いでありました。結果として、完全とはなかなか参りませんでしたが、ある程度のケジメがついたのではないかと考えており、関係者の皆様には、何かと不愉快な思いをさせたとは思いますが、これでなんとか、良い形で次の藤井ガバナーに繋げていけるのではないかと考えております。

最後になりましたが、この1年間ご指導いただきました諸先輩、献身的にご協力いただきましたキャビネットの皆様、年次大会の運営にご協力頂いた7Rの皆様、地区すべてのライオンズクラブの会員の皆様に感謝申し上げます。挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

## 7R-1Z ゾーンチェアパーソン 退任のご挨拶

7R-1Zゾーンチェアパーソン  
L 聲高 昌可



今年度皆様のご協力によりゾーンチェアパーソンの任期を終えることができました。

ありがとうございました。

新型コロナウイルスの影響も少し落ち着きが見え、少しずつ通常の例会やアクティビティ等が出来る様になりました。一年間は長いようであっという間に終わったように感じます。

今年度は25年ぶりに7R-1Zより西尾ガバナーが選出され、地区年次大会等の準備等で会員の皆さまも大変だったと思いますが、6クラブが一丸となって取り組みが出来たことがうれしく思います。また、ガバナー公式訪問も懇談会のみとして合同例会は行いませんでしたが、6クラブを西尾ガバナー、池田キャビネット幹事と例会訪問をさせて頂いた事がとてもよかったと思っています。1月には、6クラブ新年合同例会を開催し、地区年次大会の決起大会との意義付けをし、開催出来たこともうれしく思います。6月には6LCチャリティーゴルフコンペを開催し、表彰式は懇親会も行い6LCの懇親も深まったと思います。

新たなアクティビティができませんでしたが、今後も様々な奉仕活動が出来る様に頑張っていきたいと思っています。地域社会に必要とされるようなライオンズクラブになるよう引き続きよろしくお願ひいたします。

## キャビネット副幹事 退任のご挨拶

キャビネット副幹事 L 橋本 和憲



昨年5月のキャビネット予備会議に出席し、7月に受任した大役も6月末をもって終わろうとしています。当地区よりガバナー選出とのこともあり非才を顧みずお受けしたものと今でも若干後悔致しております。336-B地区アクティビティスローガン「地域に寄り添い 未来に繋げる新たな挑戦」、336-B地区ガバナーズスローガン「調和と融合

明るく・楽しく・元気よく」の両スローガンを基軸とした組織の改革、各委員会の新たな活性化案も提案され、4度にわたるキャビネット会議での経過の確認、定期の委員会も開催、年次大会で内容の説明が報告されました。

各クラブ・ゾーンに対しては数度の諮問委員会が開催され各クラブの現状確認、クラブ役員よりゾーンチェアパーソンを通じ活動報告がされ、又キャビネットからの提案についても十分に議論されたものと理解しています。

5月の連休明けにはコロナも5類感染としての対応となり活動制限が解かれたことにより、西尾ガバナーの意向が浸透し元の状態に戻りつつあると思います。個人的感想として思うのは①会員減少傾向の課題②時代に合った奉仕活動の在り方の2点についてクラブの中で充分議論を重ねながら、楽しく充実した活動を続けたいと思うものです。

## 会長退任のご挨拶

会長 L 上田 雅稔



会長に就任してあっという間の1年間でした。会長就任当初は、新型コロナウイルス蔓延が続くなか、例会開催を継続しつつ可能な範囲で活動を再開するという方針で臨むしかなく状況でしたが、新型コロナウイルス蔓延

が終息に向い、そして会員の皆様のご尽力により、相当程度活動内容を再開できるようになってまいりました。

また、「温故知新」をスローガンに、これまでの活動内容を検証し、現状にかなった活動内容にリニューアルすることを目指した1年でした。会員数減少傾向はわが鳥取久松ライオンズクラブでも続いており、会員数増加のためには魅力あるライオンズ活動を行っていく必要があります。私の在任中には新たな活動内容やその方向性を示すにとどまり具体的な活動実施には至りませんでした。木谷次期会長はじめ会員一丸となって必ずや新たなライオンズ活動を開拓されることを祈念しております。皆様にご協力いただき無事会長の任務を全うできましたこと、心より感謝申し上げます。



## 幹事退任のご挨拶

幹事 L 秋山 光行



若輩の私が、幹事という大役を仰せつかり、不安のまゝ過ごした1年でしたが、経験不足を露呈しながらも、会員の皆様の温かいご協力に支えられ、何とか役目を終えられそうで安堵しております。振り返れば、今年は活動の目玉として新規のアクティビティを開拓して実施する目標

を立て、スタートいたしましたが、引き続きコロナ禍の影響もあり、思うような実績を残すことができませんでした。その点が最大の心残りとなっておりますが、少なくとも来年度へ引き継ぐ為の芽を残せたことは、ポジティブな面として自己評価しております。

当クラブの最大の課題は、やはり新規会員の加入が少なく、組織が高齢化して活力を失いつつあることだと思います。その解決のためにも、魅力ある活動を展開し、新規会員の参入を促すことが重要だと痛感させられた1年でした。

幹事として、会員の皆様の期待に見合うような役割を全うすることはできませんでしたが、多大なご協力をいただき、本当にありがとうございました。

## 7R-1Z・6LC合同アクティビティ『街頭献血』を実施して

GST委員長 L 津川 裕史



コロナ禍でできなかった「献血協力の呼びかけ」を久しぶりに行いました。1回目は2月5日(日)10時30分から16時実施、献血できた方は49名(19,600cc)。2回目は6月4日(日)10時30分から16時実施、献血できた方は32名(12,800cc)。ご協力頂いた方には「サランラップ」を進呈。参加会員の皆様に熱心に呼びかけや献血協力を頂き、血液センターの方に「普段より献血される方が多いです。」と喜びの声を頂戴しました。ご協力に感謝申し上げ、今後ますますのご理解とご協力を宜しくお願いします。



◆2/5(日): L秋山 L小池 L田中利明 L津川  
L橋本 L福田 L吉森 L荒川昌代  
8名参加

◆6/4(日): L小池 L津川 L松下 L福田 L山田  
5名参加



## 鳥取久松LC結成53周年記念例会 [4月第1例会]

財務・計画委員長 L 吉川 利雄



コロナ感染者も春を迎える頃から段々と少なくなってきました。結成53周年記念例会も感染予防対策をしての開催となりました。近年会員の減少が多く、新会員の



入会が追いつかないのが実状となっています。コロナ感染症を念頭に置くと継続アクティビティはもとより新規事業の計画にも声することが出来ないでいる数年でした。今年の例会では新規事業(アクティビティ)に繋がる例会の開催をと目指してみました。4月13日の結成記念例会で出席会員の全員と当日の欠席者から「一人ひとりの発言・発表をお願いしての結果、幹事報告でご案内のとおり6項目の提案が寄せられ、次年度に新規アクティビティとして引き継がれ社会奉仕活動にクラブ会員の力が結集され、絆で結ばれた久松ライオンズクラブでありたいと願っています。今年度も僅かとなりました。ご協力ありがとうございました。

## 米寿を迎えて

L 小池 良香



米寿そして30年在籍のお祝いを頂きありがとうございました。ライオンの使命We SERVEに頑張っていますが、振り返り思い悩んでいます。

88歳を迎え、良い人にも恵まれ、今後もお世話になります。かわいい孫たち5人も私同様頑張っています。地球規模は目ぐるしく回り、AI・SNSについて理解できません。急がず立ち止まって人生の考え方を変換出来そうもありません。人生を気軽に終わりたいと思います。

## 喜寿を迎えて

L 上杉 榮一



1970年「戦争を知らない子どもたち」作詞・北山修 作曲・杉田二郎がヒットした。

私は、団塊の世代のトップバッター1947年に生を受けた。出生数約270万人(2022年79万9728人)現在の3倍以上である。私たちの世代は、受験戦争、戦後の高度成長期や経済バブル崩壊、リーマンショックを経験してきた。戦後78年、戦争を知らない世代が人口の85%となった。60歳で還暦を迎え、10年後の古稀、そして7年後の喜寿、あと3年たてば傘寿、米寿、卒寿、白寿と続く。寿(ことぶき)とあるのでめでたい事であるが、最近あと何年元気でいられるか、ふと、こんな思いを巡らす今日この頃である。

## 喜寿を迎えて

L 福田 正美



若い時には他人事のように思っていました。想像もつかなかった年になっていました。人それぞれですが、大きな病気もなく過ごせてくれました。これからは人には迷惑をかけない程度に頑張っていけたら良いなと思っています。

体の方も段々と年を重ねると目と耳が少し悪くなっていますが生活には余り影響もなさそうです。テレビのボリュームを少し上げて見ているとうるさがられますがそんなの気にしな一い。

今や人口減少時代、以前は若い者が年寄りを見る時代と言われましたが今は年寄りが若い者を見る時代。もう少し頑張ろう。

## 鳥取久松LCに入会して

L 吉森 英樹

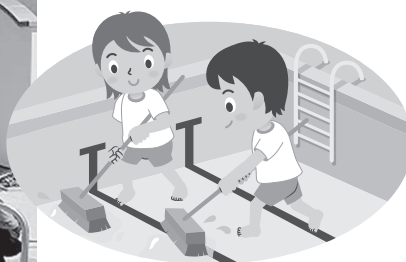


地域の課題を解決するためにいろいろなプロジェクトを展開されている皆様の一員に入れて頂き、橋本様には心から感謝しております。鳥取久松LCの皆様と友情・人間関係を育み、絆を深め築くことを考えています。LC活動を通じて、新しい出会い・友情が広がるように地域社会に貢献し笑顔絶やさない心を決めております。私のモットーは「役に立つ」です。これから始まるアクティビティが楽しみでワクワクしています。どうぞよろしくお願いします。

## 7R-1Z・6LC合同アクティビティ 『EM活性液活用事業』プール掃除

日時：5月31日(水) 13:15～13:40  
場所：於 日進小学校

日進小学校 5・6年生児童  
クラブより L上杉 L田中利明 L津川  
3名参加





## 336-B地区 第69回地区年次大会に参加して

会長 L 上田 雅稔



今年は、4月16日に鳥取市内において地区年次大会が開催されました。地区ライオンズクラブは一丸となって開催を盛り上げ、そのなかでクラブ間の交流も深まったのではないかと思います。地区年次大会は、他県での開催が多いこともあってかあまり関心をもっていませんでしたが、今回は鳥取市内での開催となり、開催をめぐって多くの人々、事柄に触れる機会を得たことで、多くを学ぶことができましたこと感謝申し上げます。

会員数の減少に歯止めをかけることが急務であることはよく耳にすることですし、この地区年次大会開催準備においても口癖のように再三主張されてきました。確かに、会員数を増やせば活動範囲の拡大可能性が高まるでしょう。しかし、会員数をただ増やせば解決するものではないように思われます。新しい世代も参加してみたくなる奉仕活動を開拓することこそ急務なのだろうと思います。



## 336複合地区 第69回 年次大会に参加して

キャビネット副幹事 L 橋本 和憲



『福』が見つかる『ふくやま』で文化と歴史に触れ友情・親善をはかろう!! の大会スローガンの複合地区年次大会に代議員として上田会長と二人で参加しました。

第1分科会での議案、複合地区会費の予算執行状況、決算の承認、家族会員の地区費の変更、学生会員の地区費・地区大会費の改革。第2分科会に於いてはGMT・GST・SCP・GLT・FWTの活動報告、今後の目標・決算承認。第3分科会ではコロナ禍で活動が停止となっているYCEの来年度再開に向けての協力依頼、献血活動の達成状況の説明、青少年に対する学校・教育委員会を通じてのライオンズクラブの活動の必要性の説明がなされた。

年次大会では各部門における活動内容の経過、予算並びに半年度決算が承認されました。全体として3年前の状況の回復傾向を確認した大会となり、次年度山口県下関市での再会を約して閉会となった。



## 鳥取中央LC 認証60周年記念式典

日時：5月28日(日) 16:00～19:30  
場所：於 ホテルモナーク鳥取

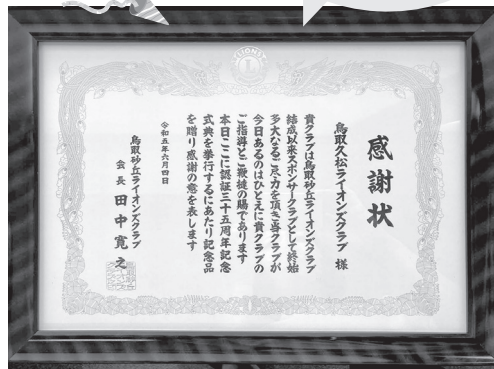


## 鳥取砂丘LC 認証35周年記念式典

日時：6月4日(日) 11:00～14:00  
場所：於 白兔会館



鳥取砂丘LCよりスポンサークラブである当クラブに感謝状と記念品を頂戴しました。



## 7R-1Z 6LC親善チャリティゴルフ大会

日時：6月11日(日)  
場所：於 旭国際浜村温泉ゴルフ倶楽部白兔コース  
【表彰式】於 白兔会館

L荒川 L小池 L津川 L吉森 4名参加  
【団体成績】  
優勝：鳥取いなばLC 2位：鳥取LC  
3位：鳥取砂丘LC 4位：鳥取中央LC  
5位：鳥取久松LC  
【個人成績】 3位：L荒川



### あ と が き

新型コロナもいよいよ5月から5類になります。  
私たちの暮らしも、すぐには無理かもしれませんが、徐々に以前のように戻っていくでしょう。  
クラブの取り組みも活気に満ちたものになるよう願っています。  
充実した広報にならなかったことをお詫びするとともにご協力に感謝します。

(MC委員会委員長 L 松下 稔彦)

- 発 行 鳥取久松ライオンズクラブ
- 事 務 局 鳥取市川端2丁目125 鳥取県不動産会館3F  
☎(0857)23-6830 Fax(0857)23-4908
- E - m a i l kyusholc@hal.ne.jp
- 会 長 上田 雅稔
- 幹 事 秋山 光行
- MC委員会委員長 松下 稔彦
- 例 会 日 第2・第4木曜日 12:20～13:20
- 例 会 場 白兔会館  
鳥取市末広温泉町556 ☎(0857)23-1201